バーディー Birdie 50・80

• 仕様説明書

SUZUKI

鈴木自動車工業株式会社
〒432 静岡県浜松市外高塚300　TEL(0534)47-1111(大代表)

★ヘルメットをかぶりましょう
★自賠責保険をお忘れなく

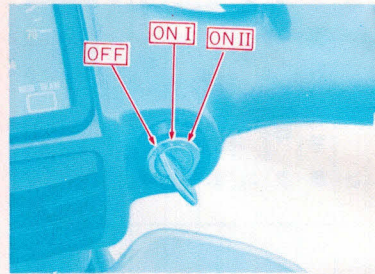
品質改良のため本書の記載事項とお買い求め頂いた現車との間に差異があることがありますのでご了承ください。

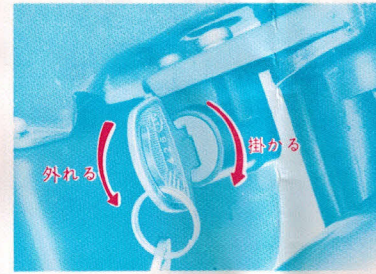
バーディー Birdie 50・80

99010－35308(SET)
99014－35308 G・I

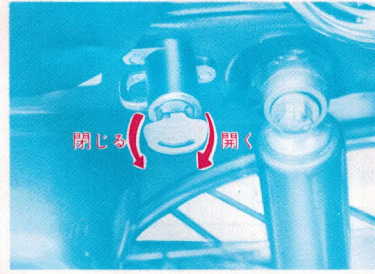
各部の取扱い

品質改良のため本書の記載事項とお買い求め頂いた現車との間に差異があることがありますのでご了承ください。

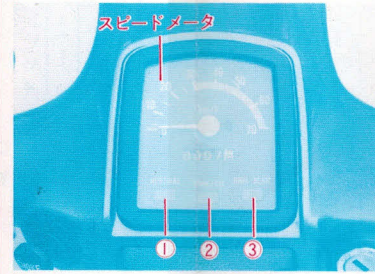
イグニッションスイッチ

位置	作用	キーの脱着
OFF	駐停車時、全ての電気が作用しない	抜ける
ON I	イグニッション、ウィンカ、ホーンなどが作用できる	抜けない
ON II	ONに加えてヘッド・テールランプが点灯する	抜けない

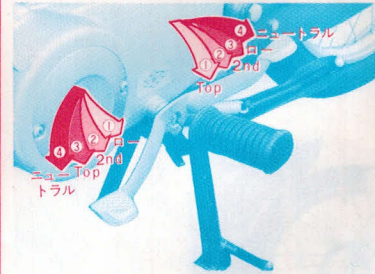
ステアリングロック

- 右へ廻すとステアリングがロックされる。
- 左へ廻すとステアリングロックが外れる。

走行する時はステアリングロックを左へ廻してロックを外してください。
キーはイグニッション、ヘルメットロックなどと共通です。紛失するとイグニッションスイッチ、ヘルメットロック等と共にセット交換(盗難防止のため)しなければなりませんので注意してください。

ヘルメットロック

- 右へ廻すとヘルメットロックが開く。
- 左へ廻すとヘルメットロックが閉じる。

- ヘルメットロックのフックにはヘルメットの金具を掛けてください。(ヒモでははずされます。)
- 自分自身の安全のため必ず着用しましょう。

パイロットランプ

❶NEUTRAL…変速ギヤーがニュートラル(チェンジが入っていない)の時に点燈します。
❷TURN/OIL…ターンシグナルランプを作用させると点滅します。また、エンジンオイルタンク内のオイル残量が不足ぎみになると点燈したままになります。
❸HIGH BEAM ヘッドランプの照射を上向きにしている時に点燈します。
●〔CHARGE〕…セル付車のみ設けてあり、走行中のバッテリー充電状態を示します。走行中は消燈していなければなりません。(アイドリング時は点燈する。)

チェンジペダルの操作

チェンジは3段ロータリー式です。

- 前を1回踏むとロー……………………(LOW)
  2回踏むとセカンド…………(2nd)
  3回踏むとトップ……………(TOP)
  4回踏むとニュートラル……(N)
- 後を踏むと逆になります。

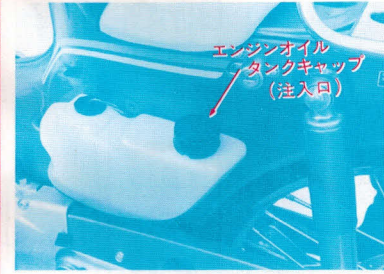
ならし運転

ならし運転期間…・1,000km走行まで

ならし運転は新品の部品を互いになじみ合う様にゆっくり運転させることによって車の寿命を長くさせるためのものです。
シリンダー、ピストン、ミッションギヤー、チェンなどエンジンや伝導装置の大部分の部品に影響しますので、ならし運転期間は絶対に無理な運転をさけましょう。

- ロー、セカンドでは、エンジンの回転が上がりやすいので特に注意してください。
- ニュートラルでの不必要な空ふかしはエンジンに非常に悪い影響を与えます。
- エンジン始動後、すぐ走り出すのはいけません。十分に暖機運転をしてください。

エンジンオイルの補給

エンジンオイルタンクキャップ(注入口)

スピードメータ部にあるTURN/OILのパイロットランプが点燈したままになったら、エンジンオイル(スズキCCISオイル)を補給してください。

- 補給はレフトフレームカバーを取り外してエンジンオイル注入口から注入します。
- キャップは左へ廻すと外れます。注入後は確実にキャップを締め付けてください。

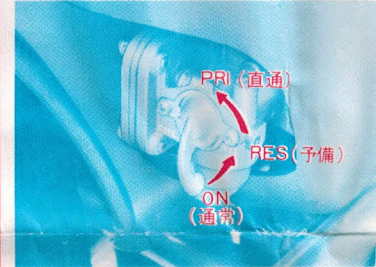
オイル切れのまま使用すると重大なエンジントラブルの原因になります。充分に注意してください。

ガソリンの点検と補給

フューエルメーター指示

F	FULL(満タン)
E	EMPTY(ガス欠)

- シートを上にあげると注入口があります。
- キャップは左へ半回転廻すと外れます。
- ガソリンは無鉛ガソリンを使用してください。
- 注入後は確実にキャップをしてください。

フューエルコック

ON	通常走行
RES	予備
PRI	直通

- この車には負圧式自動コックを採用していますのでエンジンがかかっている時はコックが開きエンジンが止まると閉じます。
- 走行中ガス欠などをした時には、レバーを一旦PRIにし、2~3分待つとエンジンが止まっていても、ガソリンが流れますから、その後RESに切り換えてエンジンを始動してください。

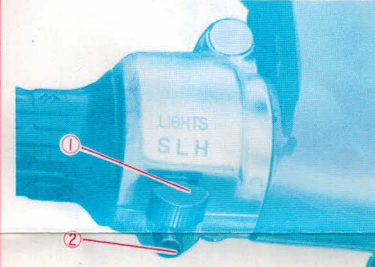
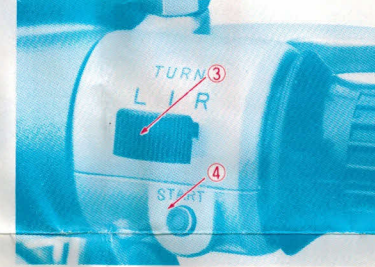
ご注意

- PRIの位置は自動コックの機能を果たしませんので、このまま走行するとオーバーフローなどトラブルの原因となります。
- RESにしたら最寄りのガソリンスタンドですぐガソリンを補給してください。

チョーク

- エンジンが冷えている時にチョークノブを操作し、エンジンを始動します。暖まっている時は操作しないでください。
- チョークを操作した時はスロットルグリップは全閉にし、チョークを操作しない時は、スロットルを少し廻してエンジンを始動してください。

チョークの過使用はプラグ湿りの原因になります。

ハンドルスイッチの操作

❶ディマースイッチ
　ヘッドランプの切り換え
❷ホーンボタン
❸ターンシグナルスイッチ
　右・左折の時使用
❹スターターボタン
　エンジンの始動に使用
　(セル付車のみ)

❶	S:セーフティーランプが点燈する L:ヘッドランプの焦点が近い H:ヘッドランプの焦点が遠い
❷	押すとホーンがなる
❸	L:左折(左へ曲がる時に使用) R:右折(右へ曲がる時に使用)
❹	押すとセルモーターが廻る (セル付車のみ)

スロー回転(アイドリング)の調整

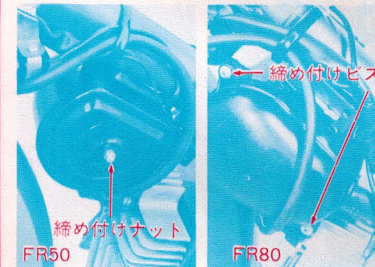
スロットルストップスクリュー
エアースクリュー

- エアースクリューは軽く一杯しめ込んだ位置から規定回転数をもどします。

FR50	1⅛回転もどし
FR80	1½回転もどし

- スロットルスクリューはエアースクリューを調整後にエンジンが静かに調子良く回転する様に調整します。

右へ廻すと回転が早くなる。
左へ廻すと回転が遅くなる。

エアークリーナーの脱着

FR 50

- エアークリーナーフィルタは 3,000km走行毎に掃除をし、6,000km走行毎に交換してください。
- 脱着はケースカバー中央のナットで行ないます。

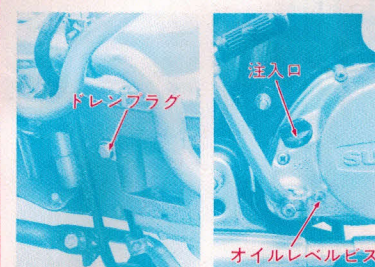
FR 80

- エアークリーナーフィルタは、6ヶ月又は5,000km走行毎に洗油等で洗浄してください。洗浄後は、洗油を完全に取り除き、スズキ CCIS オイル6g(7cc)をむらなく全周に塗布してください。
- 脱着はケースカバー上下のビスで行います。

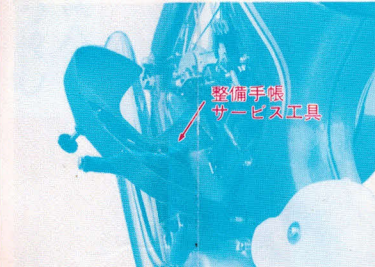
スパークプラグ

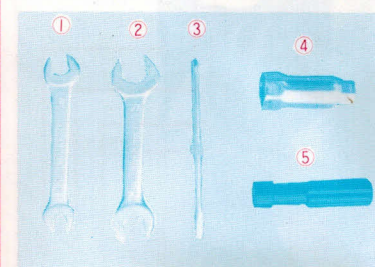
	NGK	日本電装
標準プラグ	BP-4H (50系) BP-6HS (80系)	W14FP (50系) W20FP (80系)
焼けるとき(高速走行)	BP-6HS (50系) BP-7H (80系)	W20FP (50系) W22FP (80系)
くすぶるとき(低速走行)	BP-4H (80系)	W14FP (80系)

- スパークプラグの焼け具合は、気象条件やお客様の習慣、その他、積荷の量など使用条件によって異なります。焼け過ぎの時はプラグ電極部が白く、くすぶり気味の時は黒く湿ります。
尚、正常の時は茶褐色です。焼け具合を見て使用条件に合ったプラグを使用してください。

ミッションオイルの交換

ミッションオイルは、最初1ヵ月目、その後6ヵ月又は 5,000km走行毎に交換してください。
交換は、

- エンジン底部のドレンプラグを外す。
- 注入口よりスズキ・ギヤーオイル2輪車用を入れる。
  (FR50:500cc、FR80:550cc)
- オイルレベルビスを外してオイルが流れ出れば適量です。
- エンジン暖機時に行なってください。

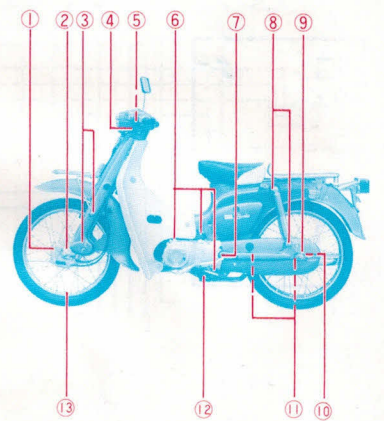
整備手帳

写真の位置に整備手帳を保管できます。
保険証などと共に走行中は常に携帯してください。
尚、洗車時などに水をかけない様に充分注意し、汚したりしない様大切に扱いましょう。

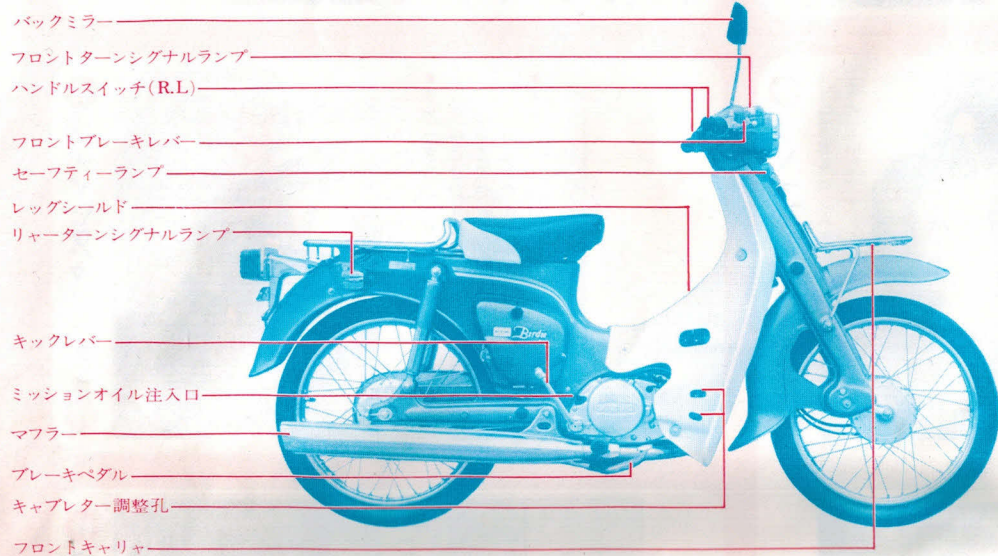
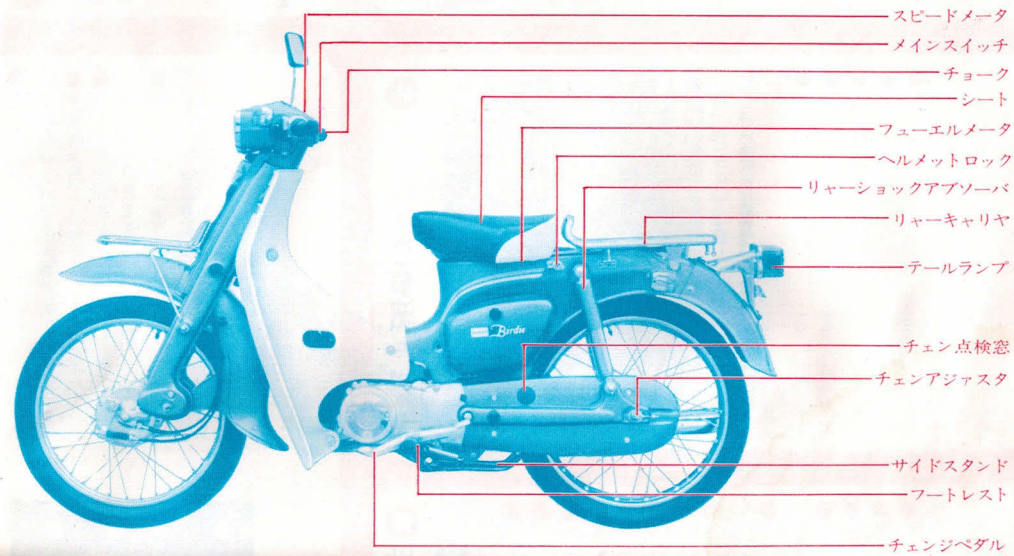
工具の格納場所

整備手帳バッグの中にサービス工具が格納してあります。点検調整に有効に利用して下さい。

❶ スパナ　10×12
❷ スパナ　14×17
❸ ドライバー⊕⊖
❹ プラグレンチ
❺ ドライバーハンドル

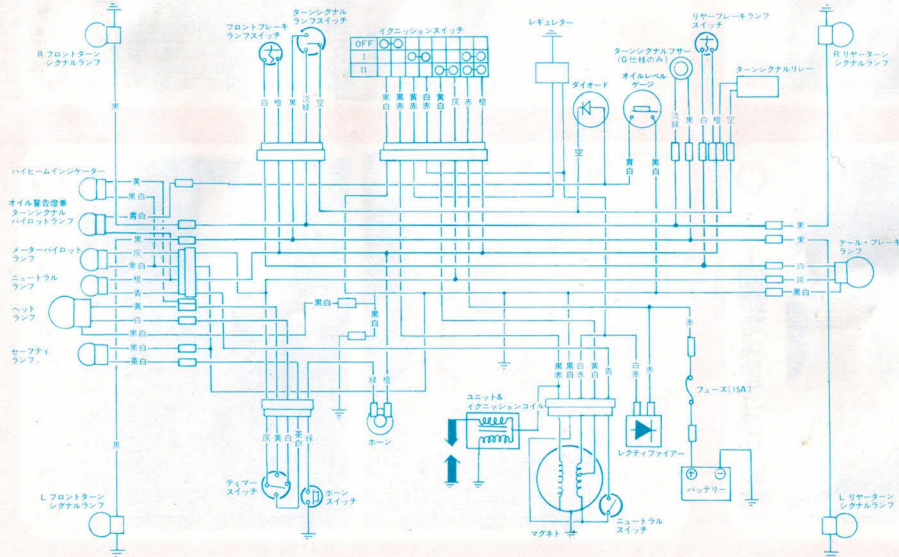
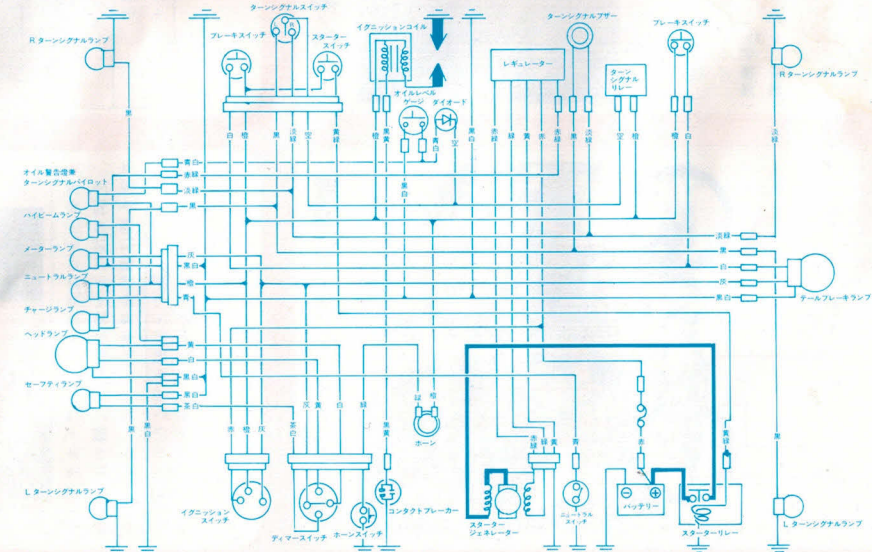
主要締付箇所一覧

車を運転する場合には必らず、車両各部の締付具合を点検して下さい。

❶フロントブレーキカムレバーボルト(1本)
❷フロントアクスルボルトナット
❸フロントサスペンションナット
❹ハンドルバークランプナット(左右)
❺ステアリングステムナット(1個)
❻エンジンマウントボルト(3本)
❼リヤースイングアームボルトナット(1本)
❽リヤーショックアブソーバーナット
　(左右各2個)
❾リヤーアクスル、スプロケットマウントドラムシャフトナット(各1個)
❿リヤーブレーキカムレバーボルト(写真裏)
⓫リヤートルクリンクボルトナット(写真裏)
⓬フートレストボルト(1本)
⓭前後スポーク

(G仕様)

各部の名称

(G仕様)

(G仕様)

電気配線図

(STD.G.L仕様車)

(GD仕様車)

主要諸元

	項目	FR50			FR80		
		STD・G	L	GD	STD・G	L	GD
寸法・重量	車体寸法(長×幅×高)	1,805×655×1,005mm			←		
	軸間距離	1,180mm			←		
	最低地上高	130mm			←		
	車両重量	76kg	←	79kg	79kg	←	85kg
	乗車定員	1名			2名		
性能	燃料消費料	90km/ℓ(30km/h)			67.5km/ℓ(50km/h)		
	制動停止距離	3.0m(20km/h)			8.0m(35km/h)		
	登坂能力	tanθ=0.36(19°50′)			tonθ=0.23(12°60′)		
	最小回転半径	1.8m			←		
原動機	総排気量	49cc			79cc		
	内径×行程	41.0×37.8mm			49.0×42.0mm		
	圧縮比	7.0			6.7		
	最高出力	4.2ps/5.500r.p.m			6.7ps/6,000r.p.m		
	最大トルク	0.62kg-m/4,000r.p.m			0.81kg-m/5,500r.p.m		
	潤滑方式	分離潤滑式			←		
	弁機構	吸気:リード弁 排気・掃気:ピストン弁			←		
	始動方式	キック式	←	キック セルフ併用式	キック式	←	キック セルフ併用式
	キャブレータ	VM14SC			VM16SC		
動力伝達・走行装置	クラッチ形式	湿式多板自動遠心式			←		
	トランスミッション	ロータリー3段			←		
	1次減速比	3.380			3.181		
	変速比1速	4.181			3.666		
	〃 2速	2.200			2.111		
	〃 3速	1.450			1.434		
	2次減速比	2.769			2.357		
	キャスタ	63°00			←		
	トレール	83mm			←		
	タイヤサイズ(前)	2.25−17−4PR			←		
	タイヤサイズ(後)	2.25-17-4PR	2.50-17-4PR	2.25-17-4PR	2.50−17−6PR		
電気装置	前照燈	25/25W81cm²			←		
	番号燈・尾燈	3W	←	5.2W	3W	←	5.2W
	制動燈	10W	←	18.4W	10W	←	18.4W
	方向指示器	8W	←	10W	8W	←	10W
	薄暮燈	5W	←	6W	5W	←	6W
	発電機	マグネトー	←	セルダイナモ	マグネトー	←	セルダイナモ
	バッテリ形式・容量	6V-4AH	←	12V-7AH	6V-4AH	←	12V-7AH
その他	燃料タンク容量	4.0ℓ			←		
	エンジンオイル容量	1.2ℓ			←		
	スパークプラグ	BP4H(NGK)、W14FP(ND)			BP6HS(NGK)、W20FP(ND)		
	タイヤ摩耗限度	0.8(1.6)mm			←		
	ドライブチェンの張り	1.0~15mm			←		